

2 目標達成計画

事業所名： 老人グループホーム 柿の木ホーム
作成日： 令和7年2月3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	運営推進会議の中で、身体拘束委員会を開催している。スピーチロックは生活の中で無意識に起こりやすく、誰でも行ってしまうリスクがあるとはいえ、身体拘束としての認識不足が伺える。職員は、利用者の対応に留意しているつもりだが、強い口調、命令口調が聞かれる時がある。	職員は、スピーチロックに対する意識改革が出来、個々に配慮して、お互いが注意し合えるようになる。	・eラーニング研修等の継続。 ・職員自身のセルフチェックから始め、全体で研修し共有する。 ・アンケート実施(スピーチロックと思う言葉を個々に書いて提出)→まとめ→研修。	6 か月
2	4	運営推進会議参加のメンバー不足。(例えば、民生委員の参加を可能に出来ないか。)	民生委員を運営推進会議メンバーに加えることで、地域の連携、情報交換が多くなり、交流を深めることが出来る。	現在課題として検討し、取り組んでいる。	5 か月
3					か月
4					か月